



# 2 主な整備箇所 (地域版)

## 4 山口・防府地域のみちづくり

### 整備が求められる主な路線

**産業・地域を「支える」**

- 物流等の迅速化・円滑化
- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化
- バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進

4-a	国道2号
4-b	県道防府環状線

**人々のいのちを「守る」**

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 救急医療施設への搬送時間の短縮

4-c	県道山口防府線
4-d	県道山口旭線

**災害に「備える」**

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

4-e	県道防府徳地線
4-f	国道9号

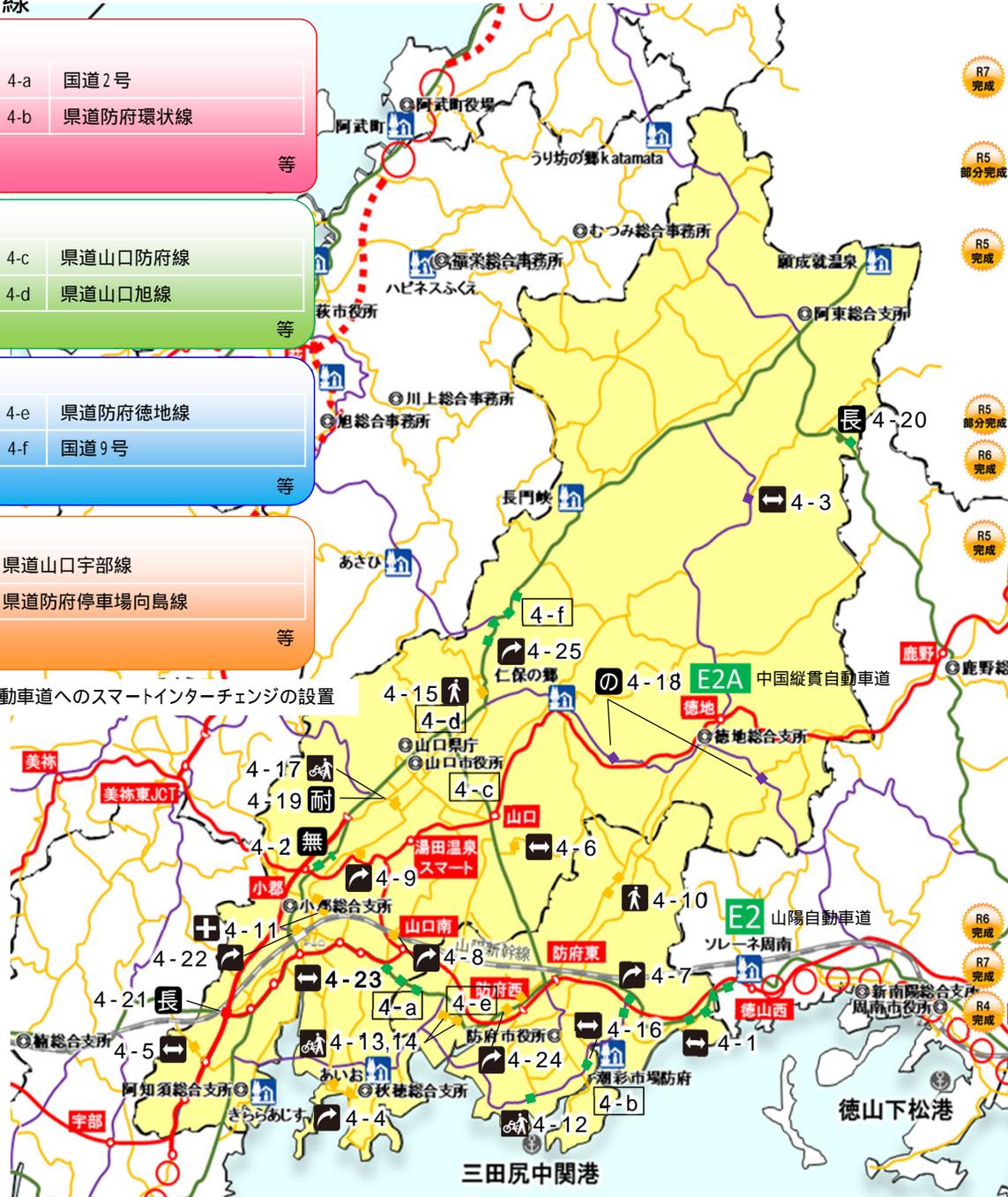
**未来に「つなぐ」**

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

	県道山口宇部線
	県道防府停車場向島線

その他、中国縦貫自動車道、山陽自動車道へのスマートインターチェンジの設置

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面對策
- 耐震化
- 無電柱化
- 長寿命化
- スマートインターチェンジ
- 道の駅
- 県庁、市役所等



### 主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支 え る	守 る	備 え る	つ な ぐ
R7 完成	4-1 国道2号 (富海拡幅)	現道拡幅	完成 (R7)				
	4-2 国道9号 (仁保津工区)	無電柱化	事業継続				
R5 部分完成	4-3 国道489号 (横山拡幅)	現道拡幅	部分完成 (R5)				
	4-4 県道宇部防府線 (黒湯)	バイパス	事業継続				
R5 完成	4-5 県道宇部防府線 (佐山)	現道拡幅	完成 (R5)				
	4-6 県道山口徳山線 (鳴滝)	現道拡幅	事業継続				
	4-7 県道防府環状線 (牟礼)	バイパス	事業継続				
	4-8 県道山口秋徳線 (鑄銭司)	バイパス	事業継続				
R5 部分完成	4-9 県道陶湯田線 (黒川)	バイパス	部分完成 (R5)				
R6 完成	4-10 県道防府徳地線 (鈴屋)	歩道整備	完成 (R6)				
R5 完成	4-11 県道小郡二隅線 (小郡上郷)	交差点改良	事業継続				
	4-12 県道防府環状線 (浜方)	自歩道整備	完成 (R5)				
	4-13 県道高井大道停車場線 (台道通ヶ崎)	自歩道整備	事業継続				
	4-14 県道高井大道停車場線 (台道駅南)	自歩道整備	事業継続				
	4-15 県道宮野上佐々並線 (宮野上七房)	歩道整備	事業継続				
	4-16 都計道環状一号線 (新田)	現道拡幅	事業継続				
	4-17 都計道泉町平川線 県道陶湯田線 (湯田温泉～平井)	自歩道整備	事業継続				
	4-18 国道376号 (仁保～徳地)	のり面對策	事業継続				
	4-19 県道陶湯田線 (湯田跨線橋)	耐震化	事業継続				
R6 完成	4-20 国道315号 (平岩トンネル)	長寿命化	完成 (R6)				
R7 完成	4-21 県道山口宇部線 (割木松橋)	長寿命化	完成 (R7)				
R4 完成	4-22 市道中領長谷線 (山口市事業)	バイパス	完成 (R4)				
	4-23 国道2号 (台道・鑄銭司拡幅)	現道拡幅	事業継続				
	4-24 県道防府徳地線 (大崎)	バイパス	事業継続				
	4-25 国道9号 (木戸山峠道路改修)	バイパス	事業継続				

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

## 2 主な整備箇所(地域版)

### 4 山口・防府地域の主な整備中箇所

#### 4-1 国道2号(富海拡幅)

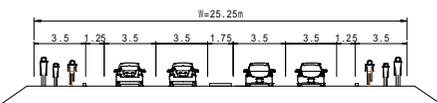
支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内容	現道拡幅
延長	L = 3.6 km
幅員	W = 25.25 m
着手年度	平成23年度

**R7  
完成**

【標準断面図】



総事業費約19.0億円



整備前

整備後



##### 目的(効果)

- ◆ 周南市から防府市間における国道2号の渋滞を緩和します。
- ◆ 線形不良箇所の解消や中央分離帯を設置し、安全で円滑な交通を確保します。

#### 4-3 国道489号(横山拡幅)

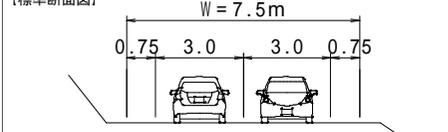
支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内容	現道拡幅
延長	L = 1.2 km
幅員	W = 7.5 m
着手年度	平成25年度

**R5  
部分完成**

【標準断面図】



総事業費約1.8億円



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。
- ◆ 中国縦貫自動車道徳地ICや国道9号へのアクセス性を向上します。



部分完成区間



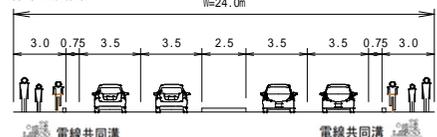
#### 4-2 国道9号(仁保津工区)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内容	無電柱化
整備延長	L = 2.2 km
幅員	W = 24.0 m
着手年度	令和2年度

【標準断面図】



総事業費約1.8億円



##### 目的(効果)

- ◆ 安全で快適な通行空間を確保します。
- ◆ 良好な景観を形成します。
- ◆ ライフラインや緊急輸送道路の安全性を確保します。



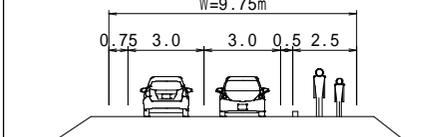
#### 4-4 県道宇部防府線(黒湯)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内容	バイパス
延長	L = 2.0 km
幅員	W = 9.75 m
着手年度	平成26年度

【標準断面図】



総事業費約1.1億円



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 4 山口・防府地域の主な整備中箇所

#### 4-5 25 県道宇部防府線(佐山)

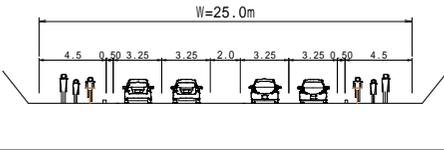
支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	現道拡幅
延長	L = 1.53km
幅員	W = 25.0m
着手年度	令和3年度

**R5  
完成**

【標準断面図】



整備前 整備後



##### 目的(効果)

- ◆ 由良IC周辺における慢性的な渋滞を緩和します。
- ◆ 山口テクノパーク及び宇部テクノパークへのアクセス性を向上します。

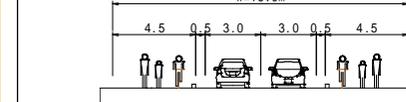
#### 4-7 58 県道防府環状線(牟礼)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	バイパス
延長	L = 0.6km
幅員	W = 16.0m
着手年度	平成26年度

【標準断面図】



関連事業(防府市事業)  
○市道真尾線 現道拡幅 L=0.4km  
総事業費約1.8億円 R2-R7

総事業費約16億円

##### 目的(効果)

- ◆ 環状道路の形成により、市街地の渋滞を緩和します。
- ◆ 三田尻中間港から山陽自動車道や国道2号へのアクセス性を向上し、物流等の迅速化・円滑化を図ります。
- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



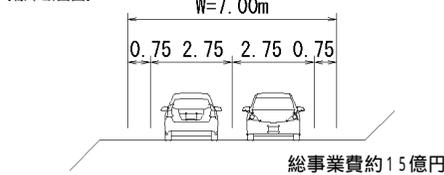
#### 4-6 27 県道山口徳山線(鳴滝)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	バイパス
延長	L = 0.6km
幅員	W = 7.0m
着手年度	平成13年度

【標準断面図】



総事業費約15億円



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道262号へのアクセス性を向上します。



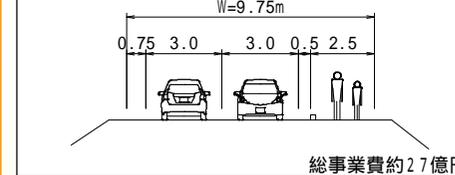
#### 4-8 194 県道山口秋穂線(鑄銭司)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	現道拡幅
延長	L = 1.3km
幅員	W = 9.75m
着手年度	平成25年度

【標準断面図】



総事業費約27億円



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 荷重制限がある橋を回避し、円滑な通行を確保します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 4 山口・防府地域の主な整備中箇所

#### 4-9 200 県道陶湯田線(黒川)

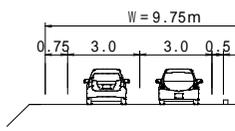
支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	バイパス
延長	L = 0.8 km
幅員	W = 9.75 m
着手年度	平成24年度

**R5 部分完成**

【標準断面図】



総事業費約5億円



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ リハビリ施設へのアクセス性を向上します。
- ◆ 山口市街地へのアクセス性を向上します。



##### 部分完成区間



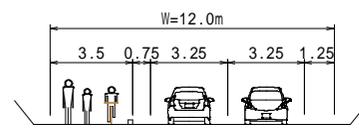
#### 4-11 28 県道小郡三隅線(小郡上郷)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	交差点改良
延長	L = 0.6 km
幅員	W = 12.0 m
着手年度	平成17年度

【標準断面図】



総事業費約3.5億円



##### 目的(効果)

- ◆ 新町交差点における食いつきを解消し、自動車事故の発生を防ぎます。
- ◆ JR山口線と立体交差化することで、安全で円滑な交通を確保します。
- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



#### 4-10 24 県道防府徳地線(鈴屋)

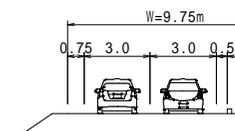
支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	歩道整備
延長	L = 1.3 km
幅員	W = 9.75 m
着手年度	平成27年度

**R6 完成**

【標準断面図】



総事業費約3億円



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



整備前



整備後

#### 4-12 58 県道防府環状線(浜方)

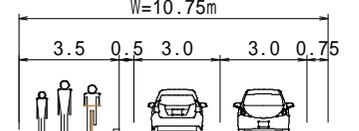
支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	自歩道整備
延長	L = 0.7 km
幅員	W = 10.75 m
着手年度	令和元年度

**R5 完成**

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



整備前



整備後

## 2 主な整備箇所(地域版)

### 4 山口・防府地域の主な整備中箇所

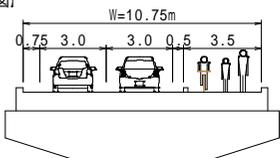
#### 4-13 187 県道高井大道停車場線(台道遠ヶ崎)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 0.3km
幅 員	W = 10.75m
着手年度	平成27年度

【標準断面図】



総事業費約8億円



##### 目的(効果)

- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



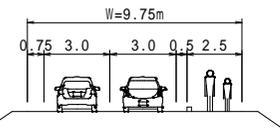
#### 4-15 196 県道宮野上佐々並線(宮野上七房)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	歩道整備
延 長	L = 1.2km
幅 員	W = 9.75m
着手年度	平成28年度

【標準断面図】



総事業費約4億円



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



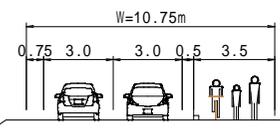
#### 4-14 187 県道高井大道停車場線(台道駅南)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 0.4km
幅 員	W = 10.75m
着手年度	平成30年度

【標準断面図】



総事業費約4億円



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



#### 4-16 都計道環状一号線(新田)

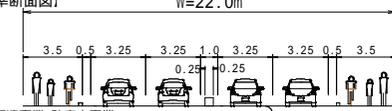
支える	守る	備える	つなぐ

#### 58 県道防府環状線

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 0.6km
幅 員	W = 22.0m
着手年度	令和元年度

【標準断面図】



関連事業(防府市事業)  
市道中間三ノ樹線、市道四ノ樹三ノ樹線  
バイパス L=1.0km 総事業費約13億円 H29-R11  
市道新橋中間線 バイパス(電線類地中化)  
L=2.3km 総事業費約37億円 R6- ) 総事業費約12億円



##### 目的(効果)

- ◆ 三田尻中間港へのアクセス性を向上し、物流等の迅速化・円滑化を図ります。
- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 4 山口・防府地域の主な整備中箇所

#### 4-17 都計道泉町平川線(湯田温泉～平井)

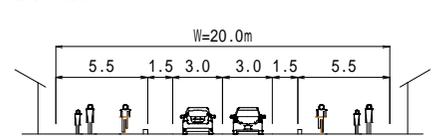
200 県道陶湯田線

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	自歩道整備
延長	L = 0.9 km
幅員	W = 20.0 m
着手年度	平成16年度

【標準断面図】



総事業費約5.6億円



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 市道東山通り下矢原線と一体的に整備することにより、市街地の円滑な交通を確保します。



部分完成区間



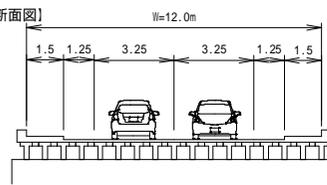
#### 4-19 200 県道陶湯田線(湯田跨線橋)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	耐震化
延長	L = 0.1 km
幅員	W = 12.0 m
着手年度	平成26年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



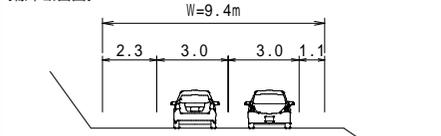
#### 4-18 376 国道376号(仁保～徳地)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	のり面対策
延長	L = 0.6 km
幅員	W = 9.4 m
着手年度	平成26年度

【標準断面図】



総事業費約2億円



##### 目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



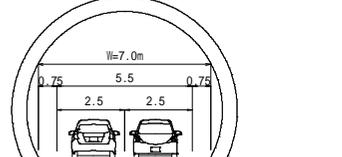
#### 4-20 315 国道315号(平岩トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内容	長寿命化
延長	L = 0.1 km
幅員	W = 7.0 m
着手年度	平成29年度

【標準断面図】



総事業費約1億円



##### 目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施、施設の長寿命化を図ります。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 4 山口・防府地域の主な整備中箇所

#### 4-21 6 県道山口宇部線(割木松橋)

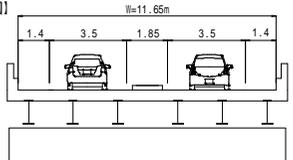
支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内容	長寿命化
延長	L = 0.04 km
幅員	W = 11.65 m
着手年度	平成25年度

R7  
完成

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

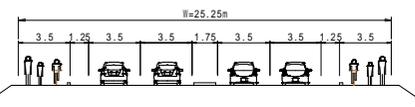
#### 4-23 2 国道2号(台道・鑄銭司拡幅)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内容	現道拡幅
延長	L = 2.8 km
幅員	W = 25.25 m
着手年度	令和6年度

【標準断面図】



総事業費約240億円



##### 目的(効果)

- ◆ 防府市から山口市間における国道2号の渋滞を緩和します。
- ◆ 4車線化及び歩道設置等により、安全で円滑な交通を確保します。



#### 4-22 市道中領長谷線(山口市事業)

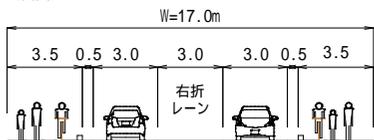
支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内容	バイパス
延長	L = 0.3 km
幅員	W = 17.0 m
着手年度	平成25年度

R4  
完成

【標準断面図】



総事業費約10億円



##### 目的(効果)

- ◆ 駅前広場と一体的に整備し、交通結節点機能を強化するとともに、にぎわいある市街地形成を図ります。
- ◆ 新山口駅へのアクセス性を向上します。

#### 4-24 24 県道防府徳地線(大崎)

支える 守る 備える つなぐ

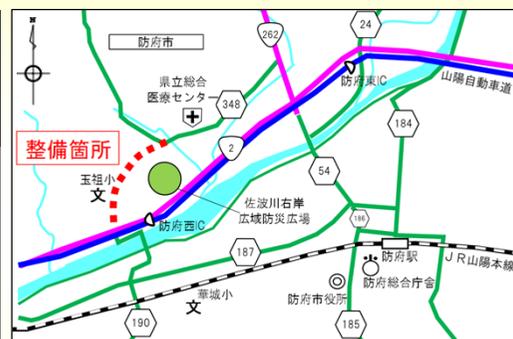
##### 概要

内容	バイパス
延長	L = 1.3 km
幅員	W = 17.0 m
着手年度	令和6年度

【標準断面図】



総事業費約22億円



##### 目的(効果)

- ◆ 佐波川右岸広域防災広場や県立総合医療センターへのアクセス道路として機能し、災害への対応力の強化や医療提供体制の充実強化を図ります。
- ◆ 広域的な交流・連携の強化に資するネットワークを構築します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 4 山口・防府地域の主な整備中箇所

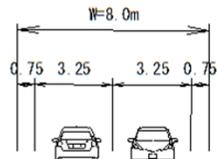
#### 4-25 国道9号(木戸山峠道路改修)

支える	守る	備える	つなく

#### 概要

内容	バイパス
整備延長	L = 3.3 km
幅員	W = 8.0 m
着手年度	令和7年度

【標準断面図】



総事業費約 380億円



#### 目的(効果)

- ◆ 交通インフラの強靱化や物流の更なる円滑化を図ります。
- ◆ 急勾配区間、線形不良箇所を回避することにより、走行安全性が向上します。
- ◆ 災害時においても機能する信頼性の高い道路ネットワークが形成されます。

